

麻進だより 9月号

茨城県立麻生高等学校進路指導部 令和元年9月



○夏季休業を終えて

「おかえりなさい、みなさん。」いよいよ2学期が始まりました。長く学校生活から離れていた生徒も多く、高校生活のリズムを取り戻すこともきっとたいへんなことでしょう。新年度も半年が過ぎようとしています。11月の麻生高等学校創立90周年記念式典や各行事など、忙しい二学期になるはずですが、3年生は夏季休業中に課外授業や特別講習会、オープンキャンパス、会社見学、履歴書の作成等それぞれの進路を決定するうえで重要な期間を過ごしたことでしょう。これからが本番です。1、2年生も来年、再来年と、自分たちの番がやってくることを意識し、3年生の頑張りに目を向けてみてください。

○1・2年生 ブリティッシュ・ヒルズ英国疑似体験プログラム（福島県）

茨城県教育委員会「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」の支援事業

昨年度から本校で始まったブリティッシュ・ヒルズ語学研修は今年度21名（1年生13名、2年生8名）にて、7月24日（水）～26日（金）の日程で実施しました。

ブリティッシュ・ヒルズは、日本にいながら英国文化を体験できる語学研修施設です。英語を学ぶということは英国文化を学ぶということに他ならないというコンセプトから、英国が最も繁栄し、世界に影響力をもった中世・英国を再現しています。当時台頭した荘園領主の館（マナーハウス）を中心とした“街”を忠実に再現し、英国文化のルーツを体験できるようになっています。建築様式からインテリアに至るまで時代考証に基づき、こだわり抜いた「本物」を備え英国を肌で感じられる研修でした。



荘園領主の館（マナーハウス）



ホテルにチェックインする準備



Room Keyを受け取る



食事は極上のバイキング



座り心地のよいソファー 図書館



Lesson Dance



マントをまとって... ハリーポッター気分?



Lesson Directions(道案内)



Lesson Cooking shortbread / Scones

研修を振り返って (生徒の感想)

○ 来年の東京オリンピック・パラリンピックで、英語を使う場面が増えるので英語の力を伸ばしたい。

○ 施設の外装、内装、細かいところまできっちり作られていてすごいと思った。

○ Lesson で発言するのに勇気がいるけれども、友達が助けてくれて、それから自分でも発言できるようになった。初めての語学研修だったが、また機会があれば参加したい。

○ 外国人との対話することがとても抵抗がなくなった。文法が間違っても相手に伝えることが大切だと思ったら、いっぱい話せた。

○ 英語を使って生活することで、英語に慣れ、参加してよかった。

○ ドキドキしながら参加したけれど、英語で授業を受けられて楽しかった。自然と英語で話せた。

○ チームでポイントを競うようなゲーム性のある授業が楽しかった。行き帰りで見た映画が新鮮でした。

○ 一日英語で話すのは大変だったが、たくさん英語を話せてよかった。また参加したい。

○ 英語で話すことに抵抗があったが、BHに参加して英語への不安や苦手意識が大きく取り除かれた気がする。普段話さない友だちとも英語だったらお互いに壁をつくらず話せ、仲良くなれた。

○ 話したことがない人とも関わられたし、英語の必要性を改めて知ることができた。

○ 時間の使い方と海外の文化について学んだ。レッスンまでの時間を効率的に使い、行きたいところも見ることができた。部屋や食事でも文化を学んだ。英語でのコミュニケーションに自信がついた。

○ 先生方がとてもフレンドリーで英語を使って楽しく活動できた。海外への関心が高まり、来年も参加したい。

○ 会話の場面で全部は聞き取れないが、キーワードを聞き取って会話ができた。

○ とても不安でしたが、1回目のレッスンで思い切って話したら会話できて、英語を話すことが楽しいと思えた。日本にいながら、留学しているようだった。

○ 学校で習った表現を実際どのような場面で使うのかわかり、意義のある学習だった。

○ 普段使わない英語を、一日中話す機会があり、より自然に会話することができた。

○ 2回目の参加でしたが、新しいレッスンを受けられて、よかった。

○ 3日間を通して、英語の勉強に対するモチベーションが高まった。

